

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2019年9月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活苦、ホームレス、深刻な労働相談も

9.17 チカホで街頭相談会&ミニ講演



道内でも格差と貧困がますます広がっています。雇用・くらし・SOSネットワーク北海道(SOSネットワーク)は、10年前の派遣切りをきっかけに、「一人で悩まず相談を」と、道内で活動を続けてきました。

9月17日、10時から18時までの8時間、人通りの多い「札幌地下歩行空間」(チカホ)で、「雇用とくらしのSOS 街頭相談会」を行いました。

当日は、29人31件の相談が寄せられ、弁護士や司法書士、生活や医療・介護制度、労働、子育ての専門家が無料で相談に応じました。血圧測定コーナーには22人が訪れました。

同時に、「雇用とくらしを守るミニ講演」も行いました。

「働きやすい職場づくり」「あきらめないで！奨学金トラブ

ル対処法」「介護保険制度の使い方」「いのち・くらしを守る生活保護を活用しよう」(写真)「借金の返済に困ったら」などのテーマで専門家が話し、参加者からは好評でした。



相談の主な特徴

相談の内訳は、生活相談：8件、法律相談：8件、労働相談：7件、医療相談：3件、心の相談：3人、介護相談：2件で、労災補償が受けられず無職でインシュリン治療を中断している方をはじめ、生活苦のため生活保護の申請が必要な方、ホームレスの方、職場でのパワハラ、セクハラなど深刻な相談が寄せられました。

相談者の年齢層は、20代が2人、30代が2人、40代が3人、50代が5人、60代が6人、70代が5人、80代が2人でした。相談者の住所は、札幌市内の他、地方都市から相談に来られた方もいました。相談の経路は、相談会前での宣伝・勧誘の他、昼に放映されたテレビや新聞やインターネットでの告知記事や知人などの紹介もありました(詳しくは『笑顔でくらしたい』(2019年10月号)で紹介します)。

11月14日(木) くらしのSOSなんでも電話無料相談

10~18時

☎ 0800-080-0058

各地で SOS相談会

- 10月 5日(土) 10-12
豊平区 月寒公民館
- 10月 16日(水) 13-17
北区 北区民センター
- 11月 13日(水) 12-15
東区 勤医協共同ビル
- 11月 17日(日) 10-14
白石区 菊水ビル

「道民のくらしに役立つハンドブック 2019-2020年度」



10月14日(社保学校)から発売

制度改定に伴い内容を充実
A5版 65ページ

定価 200円(10冊以上送料無料)

申し込みは道社保協まで